

島に残る文化・芸能を、次の世代へ継承するために

令和7年度は「佐渡島の金山」世界文化遺産登録1周年の年として、様々な形で佐渡がクローズアップされてきました。一方で、佐渡の文化・芸能が日常生活と密接に結びついているという性質上、人口減少は佐渡の文化保存や継承に直接的な影響を及ぼし続けています。

当財団では、芸能団体への調査・取材活動を通して状況を把握し上演・ワークショップの開催など、民間活力を活かした取組を展開してきました。地域住民と一体となった役割を担い、進めていくことが佐渡の豊かな文化の保存・継承、活用につながると役員・職員一同、認識しています。

当財団の設立主旨を常に念頭に置き、市民、関係機関・団体の皆様とともに佐渡の貴重な文化を守っていけるよう着実に事業に取り組んでいきます。

令和7年度の主な活動を紹介します。

- ・設立年月日：2018（平成30）年7月2日
- ・事務所：佐渡市役所畑野行政サービスセンター内（佐渡市畑野甲533番地）
- ・組織：評議員7名、理事5名、監事2名、職員4名（令和8年3月末現在）
- ・令和7年度実績：定時評議員会1回開催、定時理事会3回開催

文化団体、芸能保存会の実態調査と上演の場の創出

佐渡の芸能団体や保存会が活躍でき、誰もが気軽に鑑賞できる上演の場を創出しました。

新事業「佐渡芸能に触れてみる1時間」を6月から11月までの全11回にわたり開催し、佐渡の芸能の多様さや見どころを紹介しました。8月には新潟県文化祭2025開幕イベント運営に参画し、11月には佐渡人形芝居保存会と共催で「佐渡人形芝居保存会定期公演」を実施しました。また、佐渡民謡活性化実行委員会と共催で「第8回佐渡民謡の祝祭」を開催しました。その他、豊島区の民俗芸能イベントに鬼太鼓を派遣、銀座の新潟情報館へ野浦の春駒を派遣するなど、島内外の多くの方々に佐渡の芸能を堪能していただきました。

これと並行して佐渡の保存会、文化団体の実態を把握するための調査も進めています。



▲第8回佐渡民謡の祝祭 合同チーム[結]



▲佐渡芸能に触れてみる1時間
相川の春駒猿八支部



▲佐渡人形芝居保存会定期公演 高千中学校



▲豊島区にて、達者青年会



▲佐渡芸能に触れてみる1時間
佐渡鷺流狂言研究会



▲新潟県文化祭2025 開幕イベント

令和7年度の主な実績

■佐渡芸能に触れてみる1時間 全11回

会場公演（10回）

日時：6月8日（日）～11月16日（日） 会場：あいぽーと佐渡・堀記念金井能楽堂

出演団体 9団体（杉山民友会・春日鬼組・野浦双葉座・佐渡鷺流狂言研究会・新青座
吾湯鬼太鼓保存会・両津芸妓舞保存会・姐樽・相川の春駒猿八支部）

入場者 442名

YouTubeオンライン配信公演（1回）

日時：11月14日（金） 会場：山本半右衛門家

出演団体 真明座 再生数 513回（R8年3月現在）

■新潟県文化祭2025開幕イベント（共同企業体参画）

日時：8月3日（日） 会場：アミューズメント佐渡 出演団体 7団体 入場者 約1000名

■民俗芸能inとしま2025

日時：10月25日（土） 会場：グローバルリングシアター（東京都豊島区）

出演団体：達者青年会

■佐渡人形芝居保存会定期公演の支援

日時：11月2日（日） 会場：アミューズメント佐渡 出演団体 8団体 入場者 約100名

■第8回佐渡民謡の祝祭（共催）

日時：11月30日（日） 会場：アミューズメント佐渡 出演団体 20団体 入場者 約800名

■ルーツを巡る芸能交流会

日時：3月15日（日） 会場：あいぽーと佐渡 出演団体 3団体 見学者 約50名

■集落内の芸能現状実態把握調査 通年 ※令和5年度から継続

子どもや市民が、文化に触れる機会を提供

当財団では、子どもたちや市民が佐渡の文化・芸能等に触れる機会を提供するため、学校等で財団職員が授業で講師を務めたりわら細工を教えたりして、伝統芸能や工芸などの普及活動に努めています。また三味線などの和楽器等も積極的に貸出しています。

他にも継承者育成を目的にした「おけさ笠編込み講習会」を開催しました。講習会后、参加者が「おけさ笠の会」に入会して会員が増えたとの報告を受けました。

この他、初心者でも民謡の唄と三味線を学ぶことができる「唄と三味線の1日」や、八幡人形に代表される郷土玩具「土人形」の絵付を学ぶ「土人形絵付体験親子教室」も開催し、継承者につながる興味関心が高まる結果を得ました。



▲土人形絵付体験親子教室



▲おけさ笠編込み講習会



▲小学校での伝統芸能授業

令和7年度の主な実績

- 講師依頼：13件（子ども会や公民館講座など、財団職員が講師となり指導にあたりました）
- 学校等への和楽器貸出数：4件/延べ45台 その他、事業などで楽器の活用あり
- 財団主催ワークショップ：3件
（おけさ笠編込み講習会、唄と三味線の1日、土人形絵付体験親子教室）
- 佐渡人形芝居親子教室 親子7組の参加

担い手育成 親子で佐渡の人形芝居を学ぶ取組

令和4年度より継続してきた「佐渡人形芝居親子教室」（小学3年生～中学3年生対象）を9月から12月にかけて開催しました。

この教室では、文弥人形座の「常盤座」の皆さんを講師に迎えて、国の重要無形民俗文化財に指定されている「佐渡の人形芝居」の人形の扱い方から上演に至るまで参加者のスキルに合わせた稽古を行いました。回を重ねるごとに人形を演じる面白さを理解した子どもたちはどんどん上達していきました。

発表会では与えられた演目のワンシーンを堂々と披露し多くの来場者から拍手が送られていました。

この教室をきっかけに、保護者1名が太夫に興味をもち、公民館講座を通じて、太夫としての稽古に参加するなど、具体的な継承に繋がっています。



▲稽古の様子



▲楽しく学ぶ、教室の様子



▲12月7日のお披露目会



島の文化を体感できるアイテムを販売

佐渡には、日々の暮らしの中で活用されてきた民芸品やおけさ笠などの芸能の道具が残っており、当財団では窓口や通信販売で取り扱っています。

また、伝統芸能をまとめた芸能BOOKやぬり絵紙芝居なども揃えています。興味・関心がある方は、ぜひお求めください。

取り扱っている主な商品

- ・おけさ笠
- ・佐渡島伝統芸能BOOK(冊子)
- ・秋津の菅笠
- ・縄紬いリース
- ・七五三縄
- ・ぬりえ紙芝居（鬼太鼓・佐渡おけさ）など
- ・鍋しき(わら細工)
- ・縄紬いキット



初心者を対象として民謡の「唄」と「三味線」を学ぶ講座を開催

2月28日（土）、初心者でも民謡に気軽に親しんでいただけるワークショップ「唄と三味線の1日」を開催しました。講師は金井地区を拠点とする金子芳延会（かねこほうえんかい）の会長、金子芳延さん、同じく金井地区を拠点にする金北民謡の会の唄い手である熊野礼美さんが務めました。

三味線講座では①バチの持ち方、②三味線を構える姿勢、③絃の打ち方の3段階の基礎を経て、④佐渡おけさの旋律を鳴らす練習で構成されました。

唄講座では①佐渡おけさには唄い方が様々あること、②歌詞の母音や助詞の処理について、③難しい抑揚箇所の工夫、などの技術指導がありました。

お手本に合わせて何度も全体で歌い方をあわせたり、一人一人の唄い方をチェックしたり、また周囲のアドバイスに支えられ、だんだん全員の音色がかわっていききました。

受講後のアンケートでは参加者全員から「佐渡民謡に対して前向きに気持ちが変わった」、「やや興味が増した」と回答があり、実際に講座終了後、多くの受講者が講師へ質問を投げかける場面があり、佐渡おけさを今後学びたいという意欲を感じました。



■ 各地区の春祭り情報の掲載を開始

昨年度に引き続き行っている鬼太鼓現状把握調査の一環として、各地区の鬼太鼓団体等から許可をいただき、春祭り情報を当財団ホームページにて掲載する取り組みを新たに開始しました。

現在は春祭り情報のみの掲載となっておりますが、今後掲載情報の拡充を図っていきます。

春祭り情報の掲載へのご協力に感謝いたしますとともに、引き続き鬼太鼓現状把握調査にご協力をよろしくお願い申し上げます。



R8島内祭り・芸能情報



▲ 佐渡文化財団公式HP
「R8佐渡島内『春祭り』開催
日・芸能情報」ページ

佐渡の文化・芸能を支援する、賛助会員を募集しています!!

佐渡文化財団では、研究・調査、文化・芸能の普及活動等をご支援いただける賛助会員を募集しています。

賛助会員に申し込んでいただいた方には特典として、ニュースレターの送付等による情報提供を行っています。

会費は個人1口2,000円、団体・法人1口5,000円です。何口でも、お申し込みいただけます。ご賛同いただける方のご支援をお願いいたします。

▼財団HP 賛助会員・寄付



佐渡文化財団の活動、和楽器貸出、通信販売など詳しくはコチラから

